

熊野川の総合的な治水対策の推進

平成29年11月

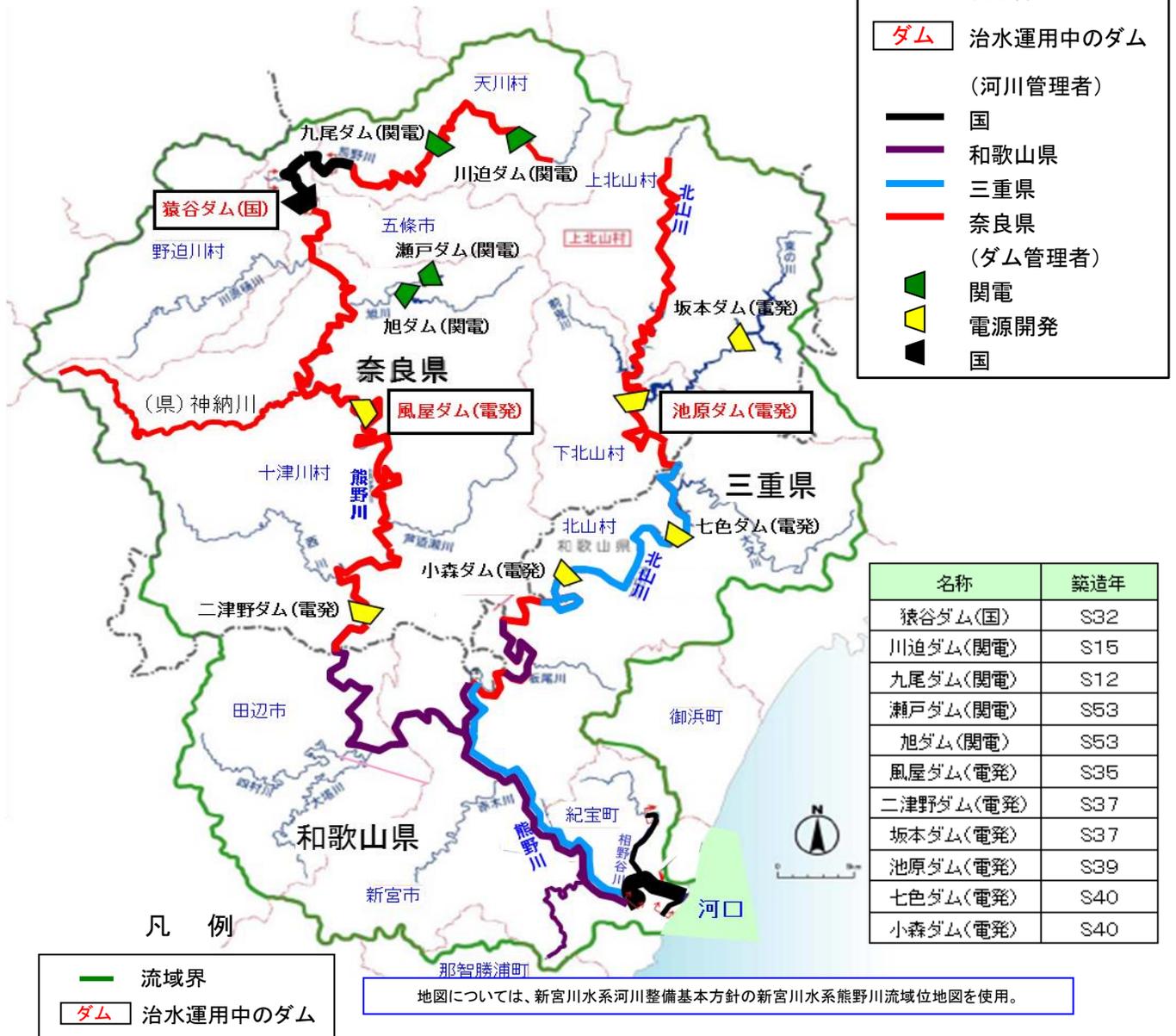
【担当省庁】国土交通省

国にお願いすること

◇ 熊野川の総合的な治水対策の推進

- ① 紀伊半島大水害の実績流量を踏まえた「新宮川水系河川整備基本方針」の見直しにあたっては、**利水ダムの治水運用を拡大**
- ② 神納川においては、**上流の直轄の堰堤整備による土砂対策と連携した大規模な河川堆積土砂撤去工事を交付金の対象事業に**

河川及びダム管理者状況図（新宮川水系）



背景

【河川及びダム管理者の状況】

○紀伊半島大水害において、河川整備基本方針の流量を上回る流量が発生。

このことから、国において、「新宮川水系河川整備基本方針」に見直しを予定

河川整備基本方針流量 19,000m³/s

大水水害発生流量（推定） 24,000m³/s

○熊野川流域には、河川管理者4者、ダム管理者3者が混在

各々の管理者が、堆積土砂対策、汚濁対策を実施

河川管理者：国、三重県、和歌山県、奈良県

ダム管理者：国、電源開発(株)、関西電力(株)

○流域にある11基の利水ダムのうち、治水運用は3基のみ。

このため、豪雨時には、ダムの緊急放流が伴うことから、**水害発生のリスクが高い**

【神納川の堆積土砂の状況】

【関係市町村 十津川村】

○紀伊半島大水害に伴う豪雨により多数の崩壊が発生し、その後も**溪流から土砂が絶えず流出**。

○流出した土砂は、**河道に大量に堆積**、現状のままでは、新たな浸水被害の危険がある。

○そのため、堆積した土砂の撤去が急務となっているが、交付金の採択要件がないため、**県単独費事業で堆積土砂撤去や流出防止対策を実施**

➤社会資本整備総合交付金交付要綱 付属編（抄）

防災・安全交付金事業

河川事業…… 一級河川、二級河川又は準用河川の改良に関する事業

(出水時)



神納川河道と一体化する川沿いの民家
(平成25年9月：奈良県撮影)

(出水後)



家屋の1階の高さまで土砂が堆積
降雨のたびに浸水被害の発生を危惧
(平成25年9月：奈良県撮影)



今もなお土砂の堆積状況は変わらない
(平成29年10月：奈良県撮影)

神納川(十津川村内野)